

平成 29 年 6 月 2 日

泉大津市長 南出 賢一 様

泉大津市公共施設等適正配置基本計画検討委員会
委員長 古阪 秀三

泉大津市公共施設適正配置基本計画について（答申）

平成 27 年 11 月 13 日付け泉大総第 145 号で諮問されました泉大津市公共施設適正配置基本計画について、当検討委員会において公募市民、公募利用団体代表者、学識経験者からの意見・助言等を基に計 7 回にわたって慎重に審議を重ねた結果、別添「泉大津市公共施設適正配置基本計画（最終案）」をもって答申と致します。

なお、計画の推進にあたっては、下記の事項に十分配慮され、基本理念（めざす姿）である「誰もが利用しやすく誰もが集える公共施設」の実現に向け、取り組まれるよう要望します。

記

○市の特性を活かした取組み

市の地域特性として市内全域が平坦でコンパクトであり、交通の利便性が高く、近隣市町とのアクセスも容易である。また、海岸に面しており今後発生が予測される地震による津波への対策も必要であり、これらの特性を踏まえた取組の推進に努められたい。

○民間事業者・市民・近隣市との連携

公共施設の適正配置が進み、複合化・多機能化により機能が集約されることで、多様な市民ニーズへの対応や、サービスの維持・向上が求められる。単独で取組むのではなく、利用状況等を踏まえ、民間活力の導入や、市民・近隣市との連携によるサービスの維持・向上に努められたい。

○着実な計画の推進

厳しい財政状況であり、老朽化する施設への対応や、様々な利用者ニーズへの対応、社会経済状況や様々な環境変化への対応など、多くの課題への対処が必要である。財源確保に向けた取組みや、計画の進行管理や推進体制により、着実な計画の推進に努められたい。

以 上